



令和5年6月28日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証グロース市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2161)

Group Lease PCLが会計監査人の指名と株主総会の招集に関し、 株式取引再開に向けたプレスリリースを公表

当社グループの持分法適用関連会社である Group Lease PCL（以下 GL）は、2023年6月27日に定時株主総会の招集を決定、新たな会計監査法人の選任を含む議案を上程したことに関連して、本日28日プレスリリースを公表いたしました。

当社の2023年6月28日付適時開示「(開示事項の経過) Group Lease PCLが株主総会の招集を決定 新たな会計監査人の指名を含む議案を上程、上場廃止事由の解消と株式取引再開に大きく前進」にてお知らせのとおり、本件は GL 株式の市場取引再開に向けた重要な進展であり、当社の株主の利益に大きく資するものと考えております。引き続き GL の取り組みを支援し協力するとともに当社株主の利益を最大化するべく取り組んでまいります。

当社といたしましては、これまで GL から毎四半期毎に同社の財務諸表並びに必要な情報を適切に提供されており、タイをはじめ、GL 子会社等の活動する各国の現地監査法人の協力を受け会計監査に十分耐えるものであることを確認してきました。従いまして、新監査法人が GL の監査を始めるにあたって、2021年から2023年現在に至る財務諸表並びに財務情報は即座に会計監査が実施できる内容となっていることから、今後 GL の会計監査は、SET が示しましたスケジュール内に終了するものと確信しております。

以下に GL の開示資料を日本語訳しお知らせいたします。原文は下記のウェブサイトにてご参照ください。

(原文 URL :) <https://grouplease.international/7683/>

プレスリリース
2023年6月28日

GLの監査委員会がHLBを監査人に指名、財務諸表の公表とGL株式の取引再開に向けた大きな一歩

Group Lease PCL. の Deputy CEO である此下竜矢氏は、「2023年6月27日にGroup Lease PCL. の取締役会は、GLの2023年定時株主総会（AGM）の議案と招集を承認しました。これはSETが以前に公表した日程通り7月31日に開催予定です。重要な議案の一つは第7議案で、HLB Audit（Thailand）を当社の会計監査人として承認することを検討するという内容です。これは、当社の監査委員会がSECが承認した会計監査法人から提案を受けたということであり、素晴らしいニュースです。当社の監査委員会は、HLBの資格と経験を審査し、HLBが当社の株主にとって適切な会計監査人であると結論付けました。HLBは、40,000人以上の従業員を抱える独立したコンサルティングと会計事務所のグローバルネットワークで、156カ国に1,128のオフィスを持ち、グローバルランキングで10位に位置しています。

今度は、当社の株主がHLBを監査人として検討し、承認していただく段階となります。私たちはSECが承認した監査人と共に協力して、2021年、2022年、2023年の財務諸表をまとめ、公表することができることを大変うれしく思います。私たちは2021年以来、監査人がないままであり、これにより財務情報の開示が遅れ、GLの取引が停止事態となりました。2年以上にわたる苦痛の時期でしたが、私たちはこれらの問題を克服し、現在は私たちと共に働く準備のできた監査人がいます。これは株主の皆様にとって重要な前進となります。」と語りました。

Group Lease PCL. の CEO である石神理貴氏は、「以前に述べたように、2021年から2023年の間に新しい監査人に私たちの財務諸表を監査してもらうことは私たちの計画に沿っており、公開された財務諸表の遅れを取り戻すことで、結果として株式取引を再開、当社の株主の利益に資することとなります。当社には何も隠すことはなく、すでに監査を受ける準備が整っており、HLBによる財務諸表のレビューと監査を受けられることを大変喜ばしく思っております。社内では、四半期ごと及び年次の会計処理を維持し、迅速にHLBと協力して財務情報を公表する準備を整っています。これにより、一般の方々に私たちの進捗状況を知らせ、SETが株式取引を認める要件を再び満たすことができます。これはそこへ至る重要な進展であり、私たちの進捗状況を皆さんに引き続きお知らせすることを楽しみにしています」と述べました。